

尾崎秀実 ジャーナリスト。<ゾルゲ事件>で死刑になったが、その後刊行の獄中通信「愛情はふる星の如く」が衝撃。

おざきほつみ

田中正造直訴1901 = 東京芝で新聞人の子に生まれ、
生後まもなく、父の赴任先の台湾に移住、

日露戦争終・1905 = 4歳：

韓国併合・・・1910 = **9歳**：

明治天皇没・1912 = 11歳：
父の影響で中国問題に興味をもつようになり、

第一次大戦終・1919 = **18歳**：中学卒業まで台北ですごす。

原敬首相暗殺1921 = 20歳：
第一高等学校を経て、

治安維持法・1925 = 24歳：東京大学法学部を卒業、大学院を経て、
日本時代始・1926 = 25歳：東京朝日新聞社に入社すると、

共産党事件・1928 = **27歳**：上海特派員となり、
世界恐慌・・・1929 = 28歳：A.スモドレーと知り合い、
海軍軍縮条約1930 = 29歳：R.ゾルゲと会う。
満州事変・・・1931 = 30歳：
五一五事件・1932 = 31歳：帰国後、

帝人疑獄事件1934 = 33歳：***ゾルゲと再会してゾルゲ諜報機関に参加。**
芥川直木賞始1935 = 34歳：翻訳「女一人大地を行く」、
二二六事件・1936 = 35歳：***西安事件の評論によって注目され、以後、傑出した中国評論家として活躍。**
日中戦争始・1937 = **36歳**：昭和研究会に参加、
健保+総動員 1938 = 37歳：***朝日を退社して、満鉄の東亜経済調査局嘱託、第1次近衛文麿内閣の嘱託となるが、**
第二次大戦始1939 = 38歳：「現代支那論」、
大政翼賛会・1940 = 39歳：「支那社会経済論」、
日米開戦・・・1941 = 40歳：***スパイ容疑で検挙され、**

年金+総武装 1944 = 43歳：**ゾルゲとともに死刑に処せられた。**
著書は他に「最近日支関係史」など。また死後刊行された獄中通信「愛情はふる星の如く」がある。